

**内閣総理大臣杯
第53回全日本空手道選手権大会（団体戦）
大会要項**



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 名 称 内閣総理大臣杯 第53回全日本空手道選手権大会（団体戦）
2. 主 催 公益財団法人全日本空手道連盟
3. 後 援 スポーツ庁、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会、
（公財）日本武道館、日本武道協議会、千代田区、足立区、NHK （予定）
4. 日時・場所 令和7年12月13日（土） 12時20分～19時00分（予定）
会場：東京武道館（東京都足立区綾瀬3-20-1）
8時15分～ 開場（団体組手入場可能）
9時20分～ 団体形競技開始
12時20分～ 団体組手競技開始
18時50分～ 表彰式
5. 競技種目 男子・女子組手競技団体戦
都道府県ごとに編成されたチームによる組手競技団体戦
6. 競技規定 （公財）全日本空手道連盟 空手競技規定で行う。
（1）組手競技団体戦
ア. トーナメント方式で行う。（第1回戦で同一地区の対戦は行わない）
イ. 3位決定戦は行わない。
ウ. 決勝戦はビデオレビュー（VR）システムを採用する。
エ. プロテストを採用する。プロテストの金額は20,000円とする。なお、
従来通り軽微な不服申し立てについては、その場でコート主任に監督が申し
出て訂正を促すこととする。
（2）安全具について
ア. 拳サポーター（WKF 又は全空連承認の赤色・青色のもの）
※令和5年1月16日付け「組手競技における拳サポーターの使用基準につ
いて（通知）」を参照のこと
イ. マウスピース
ウ. ボディプロテクター（WKF 又は全空連承認のもの）
エ. インステップガード・シンガード（WKF 又は全空連承認の赤色・青色のもの）
オ. セーフティーカップ（男子選手のみ）
カ. チェストガード（女子選手のみ）
※安全具は選手各自において用意すること。
※安全具に不備のある選手は出場することができない。

- (3) 選手の服装について（別紙参照）
- ア. 空手着は（公財）全日本空手道連盟競技規定に定めたものとする。
 - イ. 空手着の紐は必ず結ぶこと。
 - ウ. 赤・青帯は全空連で検定されたものを各自で用意すること。
 - エ. ゼッケン、胸マークは必ず縫い付けること。
- (4) 監督の服装について
- ア. ダークスーツまたはジャケット・ブレザーを着用すること。
 - イ. ワイシャツは白色とする。
 - ウ. 全空連指定ネクタイ（紺色）を着用すること。
 - エ. シューズは床を傷つけないものとし、派手な色合いは禁止とする。（サンダル不可）
 - オ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身に着けないこと。
 - カ. 監督用 I D カードを携帯すること。（首から下げる）
 - ※全空連エンブレムの着用は不可とする。
 - ※女性はスラックス又はスカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。
- (5) 大会審判団は、（公財）全日本空手道連盟公認審判員により編成される。

7. 出 場 枠

- (1) 組手競技団体戦
- ア. 各都道府県より、男子 1 チーム、女子 1 チーム参加できる。
 - イ. チームは、男子 7 名、女子 4 名まで登録できる。
 - ※令和 6 年 3 月 22 日通知（5 月 8 日修正）「令和 6 年度国内でのルールについて<団体組手の選手数について>」を参照のこと。
 - ウ. 同点の場合の勝者決定代表選手は、当該試合出場者（少年男子・女子含む）の中から選ばなければならない。
- (2) 監督
- 男女別にそれぞれ 1 名とする。競技進行上、男女両チームの監督を兼任すること
はできない。（個人戦、団体形の兼任は可）

8. 出場資格

下記項目をすべて満たしていること。

- (1) 選手及び監督は、（公財）全日本空手道連盟の会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。
- ※高校生は下記 18「ドーピング検査について」を確認すること。**
- (2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
- ア. 日本国籍を有する者
 - イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済み証明書、または 3 年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (3) 選手及び監督は、都道府県連盟からそれぞれ選出された者とする。
- ア. 都道府県連盟（①～④のいずれかによって所属していること）
 - ①居住地 ②勤務地 ③学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地
 - ④卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地

- (4) 選手は、令和7年度以内に満16歳の誕生日を迎え、全空連公認段位取得者であること。(少年段位は不可)
- (5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- (6) 監督は、全空連公認地区審判員以上の審判員資格と、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ3以上の資格の両方の有資格者であること。

※選手及び監督の所属を証明する書類(住民票又は在学・在勤証明書)並びに選手の健康状態を証明する書類(健康診断書等)については、当該団体会長又は議長が確認し、内容に相違ないことを証することとする。(全空連への提出不要)

9. 申し込み手続き

【大会申込担当者】

- (1) 個人戦・団体戦の選手と監督を併せてWEB(JKF 会員システムより)申し込みを行うこと。

申込期間：令和7年10月14日(火)～31日(金)23時59分まで

※選手及び監督によるJKF 会員マイページでの承諾期間も同様とする。

- (2) 留意事項

ア. 出場資格、申込内容に不備があるとき、又は申込期限に遅れた場合は出場を認めない。

イ. 出場申し込み後の選手の変更は、提出期限内であっても一切認めない。

ウ. 出場申し込み後、やむを得ずチームが試合に出られない事態が生じた場合は、棄権届に必要な事項を記入し、早急に届け出ること。

10. 大会出場費 (1) 大会出場費 1チームにつき 30,000円

- (2) 大会出場費納入について

コンビニ決済又はクレジットカード決済とし、10月31日(金)までに納入ください。

※各明細書を領収書の代わりとする。

※納入後の出場料は、出場辞退があった場合でも返金しない。

11. 旅費等の負担について

- (1) 交通費・宿泊費ともに自己負担とする。宿泊先については各自手配すること。

12. 組み合わせ抽選について

- (1) 抽選日：令和7年11月11日(火)

- (2) 抽選場所：日本空手道会館 会議室

- (3) 全空連公式YouTube チャンネル「JKF チャンネル」にてLIVE 配信予定

13. 安全管理

- (1) 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。
- (2) 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
- (3) 選手は、必ず健康保険証を携行すること。

14. 表彰

- (1) 男子及び女子組手競技団体戦

優勝(内閣総理大臣杯)、準優勝、第3位(2チーム)

※入賞チームは必ず表彰式に参加すること。

15. 監督会議 オンライン会議 令和7年11月20日（木）19時00分～

16. 配信について 全空連公式YouTubeチャンネルにてLIVE配信予定

17. 肖像権について

本大会は大会の模様をインターネットによるライブ配信を予定しており、観戦できない関係者にもその案内を出すことを予定している。これらの事情から、肖像権の取り扱いについて下記の通りとする。

- (1) 公益財団法人全日本空手道連盟および関係機関が認めたライブ配信業者・報道機関等によって、撮影された映像や写真が中継・録画放映及びインターネットにより配信または二次利用されることがある。
- (2) インターネットのライブ配信等に際して、個人情報（氏名、所属など）、大会記録等を公表することがある。
- (3) 本大会参加申し込みにより、上記（１）（２）の取り扱いに関する承諾はいただいたものとして対応する。
- (4) 訂正などを希望される場合は、本人であることを確認したうえで、当連盟の定める書面の提出又は当連盟ホームページからのお問い合わせフォーム（<https://www.jkf.ne.jp/contactus>）により対応に応じる。

18. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。本大会参加者は、本大会に出場申し込みをした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申し込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

【18歳未満競技者親権者 同意書】を記載して当日持参すること。※全空連に事前の提出は不要

本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規程違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容及びドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

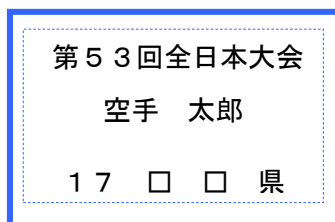
19. そ の 他 (1) ゼッケン・IDカードは大会本部で作成し、11月中旬に所属団体へ発送する。
(2) 当日欠席する選手が出た場合は、監督が選手受付場所に、棄権届を招集時間までに提出すること。

20. お問い合わせ (公財) 全日本空手道連盟 企画業務課 砂川 雄飛 (y-sunakawa@jkf.jp)

●選手の服装について（別紙）

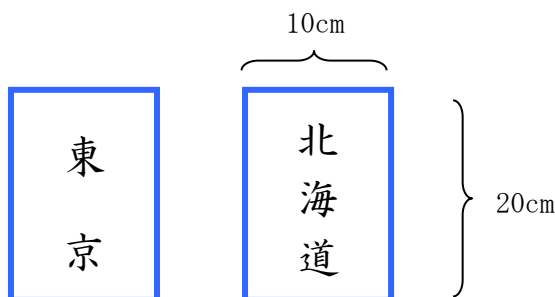
（１）ゼッケンについて

- ・ゼッケンを正しく縫い付けていない選手は出場することができない。
マジックテープ等での仮止めは不可とし、確実に縫い付けて参加すること。また、競技中に取れた場合は次の試合までに必ず再度縫い付けなければ出場できない。



（２）胸マークについて

- ・選手の胸マークは、各都道府県名を表記した下記規格のものを左胸に固く縫着する。
- ・所属の会社、学校等の名称・マーク、会派名、道場名等を表記することは認めない。
 - ①サイズは、縦20cm×横10cm以内とする。
 - ②文字は、楷書体・黒色・縦書きとする。



（３）両腕部マークについて

【右腕】

- ・選手は協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着できる。
サイズは縦3cm×横10cmとし、競技規定に定められた範囲内に最大4件まで表示可能とする。
- ・本大会において、風俗営業関連、暴力団関係企業、団体等を協賛として露出することは認めない。
- ・協賛企業・団体の名称あるいはロゴマークを縫着する場合、事前に全空連から承認を受けること。

承認期間：令和7年12月5日(金)まで 【<https://forms.gle/nLfgf1nj8iKNBqGh9>】

※承認期間を過ぎたものについては縫着を認めない。

【左腕】

- ・左腕部マークについては、都道府県名、所属の会社・学校名等のいかなる表記も認めない。
- ・全空連が指定する大会スポンサーのロゴマークを縫着する場合がある。

(4) 製造業者商標ラベルについて

- ・製造業者がはじめから付けた織ラベル・商標だけは上着の裾表側、ズボンの表側(左右どちらか)、右胸、襟裏のみ可とし、それ以外のワッペン・刺繍等は一切認めない。

※各流派のオリジナルラベルは認める。

